

カテリーナ古楽器研究所が復元した楽器たち



## Bowed Psaltery

ボウドブサルタリー(弓奏ブサルタリー)

ボウド=弓で擦る意。

ブサルタリーを三角型にする事により、

弓で擦って奏する事が可能となった。

弓で擦るブサルタリーの美しい音色は、

まるで聖堂の中にいるような響きを持っており

1音鳴らすだけで体中に音が響き渡るようで、

穏やかな癒しをもたらしてくれる

## Fiedel 中世フィドル

ヴァイオリンの先祖になる楽器「フィーデル」

中世ヨーロッパの宮廷社会では、

最も重要な弓奏楽器としてフィーデルは位置づけられていました。

ガット弦を張られた中世フィドルの音は独特な優しい響きがあります。



## Gittern

中世時代の小型のリュート。

Gitternとも呼ばれ、一本の木から彫り貫いた胴を持ち、

小型ながら中高音の美しい響きを奏でます。

中世の歌の伴奏や旋律を奏でるのに欠かせない古楽器です。

プレクトラム (ピック) でも演奏されるスタイルが

特徴的でもあるかもしれません。

カテリーナでは身近な森の木々を

利用して製作される楽器の一つです。

カテリーナ古楽器研究所が復元した楽器たち



## Citole

ヨーロッパ中世時代の撥弦楽器。

現代のギターの遠い先祖となる古楽器です。

絵画に描かれたシトールとフィーデルを弾く姿などをみると、  
伴奏楽器としても多く使用されていたと想像出来ます。

また、吟遊詩人と旅を共にした楽器だった事でしょう。

## Psalterium

ブサレテリウム (ラテン語) は、ブサルテリー、  
サルテリーとも呼ばれ、  
指またはプレクトラム (カラスの羽) ではじくという  
単純な琴型の楽器で、  
ギリシャ時代にはすでに用いられており、  
中世ヨーロッパ各地に普及していた。  
ツィター属の撥弦楽器ブサレテリウムに鍵盤を付け、  
弦をはじく機構を組み込んだものがチェンバロになった。



## Cittern

ルネサンスの主要な弾奏楽器で、

当時画家によってもしばしば描かれ、

リュートと同様に高く評価され、尊重される楽器でした。

実際にシターンは、単純な舞曲や、バラードから、

精巧なポリフォニーにわたる

高度なテクニックでの表現まで幅広く、

指やピックで、自由に演奏を楽しめる響きを持っています。



## Renaissance 4-Course Guitar

ルネサンス4コースギターは

スペインで誕生した小型のギター。

高価な宮廷楽器、ヴィウエラ・ダ・マノに対して、

4コースギターは庶民にも手の出せる楽器として作られた。

調弦はウクレレと同じで弾き語りの楽器としても活躍したが、

少ない弦数にも関わらず、その機能性は優れており、

多くのソロ曲も演奏することができ、幅広く愛用されていた。

大航海時代、海を渡り、世界各国で形を変え、

影響を与えた楽器でもある。

## Baby Lyre

カテリーナ古楽器研究所が

長年木と対話する中から生まれたライアーシリーズ。

ベビーライアーは、元々マザーライアーを製作する

木取りのプロセスから発案された、

その名の通り母から生まれた赤ちゃんライアーなのです。

8弦のダイアトニック調弦で親しみやすく

この音階の中で数々の曲を奏でられます。

ポロンポロンと響きや自由な音遊びもお楽しみ下さい。

素材にクスノキを用い、美しい音を楽しめます。

一つの木から彫り出された胴体から生まれる響きは、柔らかく澄んだ音。

幼児から大人まで木のぬくもりをそのまま感じられる楽器です。

